

【オンデマンド配信対象セッション】講演一覧： 第40回日本整形外科学会基礎学術集会

2025/9/30

セッション区分	タイトル	登壇者（SYは座長を掲載）	抄録	日整会単位取得	必須分野	認定番号	オンデマンド配信で取得可能な単位
会長講演	Orthopaedic surgeon scientist として	石橋 恭之	S1537	—	—	—	—
文化講演	やれる理由こそが着想を生む —「はやぶさ」, 「はやぶさ2」を完遂させた力—	川口 淳一郎	S1538	N	14-5	024	日整会
基調講演	生命の要, キネシンスーパーファミリーモーター分子群と細胞内輸送 —神経機能の制御, その障害と関連疾患まで—	廣川 信隆	S1537	N	14-5	020	日整会
特別講演	2 生命を模倣する —幹細胞由来ミニ臓器が拓く次世代医学研究—	阿久津 英憲		N	14-5	049	日整会
特別企画	大学病院の生き残り	星長 清隆	S1596	N	14-3	010	日整会
海外招待講演	1 Meniscus and early knee osteoarthritis	Martin Englund	S1547	N, S	2, 12	018	日整会
	2 Spinal pathoanatomy and clinical epidemiology	Hiroko Matsumoto	S1596	N	3, 7	006	日整会
	3 Unleashing the therapeutic potential of cell transplantation for spinal cord repair	Martin Oudega	S1743	N, SS	1, 7	035	日整会
	4 Updates in the regenerative medicine for osteoarthritis treatment	Gun-Il Im	S1823	N, S	1, 12	036	日整会
	5 Multi-dimensional analysis of the human knee as an organ to discover mechanisms of tissue damage and pain in osteoarthritis	Martin Lotz	S1823	N, S	1, 12	039	日整会
教育研修講演	1 肩診療のバージョンアップのための基礎研究	山本 宣幸	S1550	N, Re	1, 9	004	日整会、リハビリ
	2 がんゲノム医療と骨・軟部腫瘍	川井 章	S1618	N, Re	1, 5	009	日整会
	3 海外留学のすすめ —COVID-19 パンデミックと世界情勢の変化がもたらした新しい「海外留学」の形— 海外留学のすすめ —基礎研究留学体験談—	折田 純久	S1633	N	14-5	021	日整会
		小川 寛恭					
	4 医療安全文化の醸成と整形外科医の役割	内山 勝文	S1634	N	14-5	022	日整会
	5 Orthopaedics and traumatology in a changing world Microsurgical reconstruction for the treatment of sever damaged upper extremities	Dietmar Pennig	S1748	N	8, 10	030	日整会、リハビリ
		Toru Sunagawa					
	6 萎縮性偽関節の基礎と外科的治療 —骨折治療における生物活性とは?—	渡部 欣忍	S1749	N	1, 2	034	日整会
	7 整形外科医のための実践医療統計 —エビデンスに基づく診療と論文作成のために—	岡 敬之	S1753	N	1	053	日整会
	8 間葉系幹細胞を用いた関節内治療の過去・現在・未来	関矢 一郎	S1824	N, S	1, 12	054	日整会
9 5年後も同じ手術でいいですか? —少しの努力で未来は大きく変えられる— 人工関節研究の活性化にむけて —指導者の立場からの提言—	乾 洋	S1836	—	—	—	リハビリ	
	加畑 多文						
10 抗菌薬適正使用におけるトピックス —整形外科領域を中心に—	川村 英樹	S1837	N	14-2	041	日整会	

セッション区分	タイトル	登壇者（SYは座長を掲載）	抄録	日整会単位 取得	必須分野	認定番号	オンデマンド配信で取得 可能な単位
教育研修講演	11 Academic surgeon を目指して苦勞してきたこと ー脊椎脊髄外科医の理想と本音ー	中島 宏彰	S1838~1839	N, SS	1,7	051	日整会
	脊椎脊髄外科研究のすすめ ー優れた研究のコツと要点ー	菅野 晴夫					
12	脊椎診療におけるAI の実装	藤森 孝人	S1839	N, SS	1, 7	056	日整会
GJSOT International symposium	1 New technology in joint surgery 1	Dietmar Pennig, Toshifumi Ozaki	S1871~1873	N, Re	2, 5	050	日整会
	2 New technology in joint surgery 2	Wolfram Mittelmeier, Koji Hiraoka	S1874~1876	N	1, 11	058	日整会
共同シンポジウム	1 Advances in patellofemoral joint treatment	James P. Stannard, Yuka Kimura	S1542~1545	N, S	2, 12	007	日整会
	2 変形性膝関節症を考える	内尾 祐司, 古賀 英之	S1548~1550	N, S	2, 12	023	日整会
	3 バイオマテリアル研究の実用化へ向けて	松田 秀一, 京本 政之	S1601~1603	N	1	008	日整会
	4 整形外科基礎研究とリハビリテーション医学のマリアージュ	宮本 健史, 緒方 徹	S1619~1621	N, Re	13	019	日整会
	6 非定型骨折の科学 ー疫学・発症メカニズムの解析ー	野田 知之, 澤口 毅	S1750~1752	N	2, 4	038	日整会
	7 これからの整形外科研究における骨組織形態計測学の実際と意義 ー動物実験から臨床試験までー	酒井 昭典, 高畑 雅彦	S1754~1755	N	1, 4	059	日整会
共同シンポジウム	8 小児整形外科股関節領域におけるAI 利用と最新研究	稲葉 裕, 瀬川 裕子	S1840~1842	N	3, 11	061	日整会
	9 骨・軟部腫瘍の遺伝子検査による診療の発展	米本 司, 小林 寛	S1846~1848	N	5	037	日整会
	10 有限要素解析法で語る外傷治療	渡部 欣忍, 塩田 直史	S1850~1852	N	1, 2	052	日整会
	11 腱板修復促進に関する基礎的研究	西中 直也, 谷口 昇	S1853~1855	N, S	1, 9	060	日整会
シンポジウム	1 ACL 再建術後成績向上に向けた基礎研究の最前線	中田 研, 松下 雄彦	S1539~1541	N, S	1, 12	001	日整会
	2 脊柱側弯症の病態解明から早期発見への道しるべ	高橋 淳, 出村 諭	S1593~1595	N, SS	1, 7	002	日整会
	4 脊柱靱帯骨化症研究の最前線	川口 善治, 吉井 俊貴	S1607~1609	N, SS	1, 7	025	日整会
	5 手外科領域における末梢神経の再生医療	市原 理司, 田中 啓之	S1622~1624	N, SS	8, 10	003	日整会
	7 骨関節組織再生トランスレーショナルリサーチの最前線	中島 康晴, 高橋 謙治	S1820~1822	N, S	11, 12	031	日整会
	8 整形外科疾患におけるAIの活用 ー診断・治療の新時代ー	茂呂 徹, 藤田 浩二	S1825~1828	N	1	057	日整会
	9 関節手術におけるロボット・ナビゲーション技術の最前線	岡崎 賢, 高尾 正樹	S1833~1835	N, R	11, 12	032	日整会
	10 骨・軟部腫瘍における画像技術の進歩と臨床応用	川島 寛之, 松峯 昭彦	S1843~1845	N	1, 5	033	日整会

セッション区分	タイトル	登壇者（SYは座長を掲載）	抄録	日整会単位 取得	必須分野	認定番号	オンデマンド配信で取得 可能な単位
---------	------	---------------	----	-------------	------	------	----------------------

日整会認定教育研修 受講取得単位（認定単位種別）

N:日整会専門医単位 S:スポーツ単位 R:リウマチ医単位  
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野（専門医必須14分野）

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患, 感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
- 14-5 1～13に当てはまらない領域講習

14-1～4は機構認定専門医共通講習。

14-1～3は機構認定専門医必修講習で, 5年間で各1回以上受講しなければならない。